

## 一般的リスクは上位安定、下位の個別リスクは変動大！

### —道路貨物運送業「事業等のリスク」2020.3期集計（その2）—

高市幸男（リスク管理研究所）

道路貨物運送業、2020年3月期の「事業等のリスク」を集計した結果、判明したる特徴を発表する。本稿は「新型コロナウイルスがいきなり Top に！」に続く第2号である。

なお、本集計は、決算期による変化を明確にするため、3月期のみを対象とした。よって、各期の集計対象企業は同一である。

※注、リスク別の比較集計では、日本郵政が重大な関連事業が複数あり、かつ本社とグループ会社のリスクを掲載し、更に掲載の仕方を変更していることから、斯業のみでリスクを比較する事が難しいため、除外し、対象企業を34社とした。

#### 1. 一般的リスクは上位安定、下位の個別リスクの変動が大きい

2020.3期の集計企業数は34社（2019.3期と同じ）、掲載総数は411件で2019.3期の392件より、19件増加した。回答社数の1位は「感染症の流行」の29社であるが、新規リスクの回答社数が大きな影響を及ぼした。

2020.3期に掲載されたリスク総数は52件で、2019.3期の51件より1件増加した。リスク総数の変化は僅か1件であるが、継続したリスクは43件84.3%であり、9件17.6%は変化しており、その変化は決して小さいものではない。ただ、消滅したリスクは、2019.3期の30位以下で回答社数3社以下の個別リスクであり、新規掲載されたリスクは、2020.3期の35位以下で回答社数2社以下の個別リスクであった。このため一般的リスクは上位安定し、下位の個別リスクが大きく変化していると言える。

図表1 事業等リスクの掲載数

|       | 2019.3期 | 2020.3期 | 前期比    |
|-------|---------|---------|--------|
| 集計企業数 | 34      | 34      | 100.0% |
| 掲載総数  | 392     | 411     | 104.8% |
| リスク総数 | 51      | 52      | 102.0% |
| 消滅    |         | 8       | 15.7%  |
| 新規    |         | 9       | 17.6%  |
| 継続    |         | 43      | 84.3%  |
| 横這い   |         | 14      | 27.5%  |
| 増加    |         | 16      | 31.4%  |
| 減少    |         | 13      | 25.5%  |

出所：有価証券報告書から筆者集計

## 2. 1社当たりのリスク掲載件数は12件

2020.3期の掲載件数は、最高25件（2019.3期19件）、最小は5件（2019.3期3件）、1社当たり平均件数は12.1件で、2019.3期の11.5件から0.6件増加した。一番の貢献は「感染症の流行」であり、新規に掲載した企業は29社あり、それだけで平均0.85件の増加となった。

## 3. 殆どの企業に「新規のリスク」と「消滅のリスク」がある

2020.3期に新しいリスクを1件以上掲載した企業は33社の97.1%、掲載のない企業は1社2.9%しかなかった。2019.3期に掲載されているリスクが、2020.3期に1件以上消滅した企業は、33社97.1%に及び、消滅のない企業は1社2.9%であった。

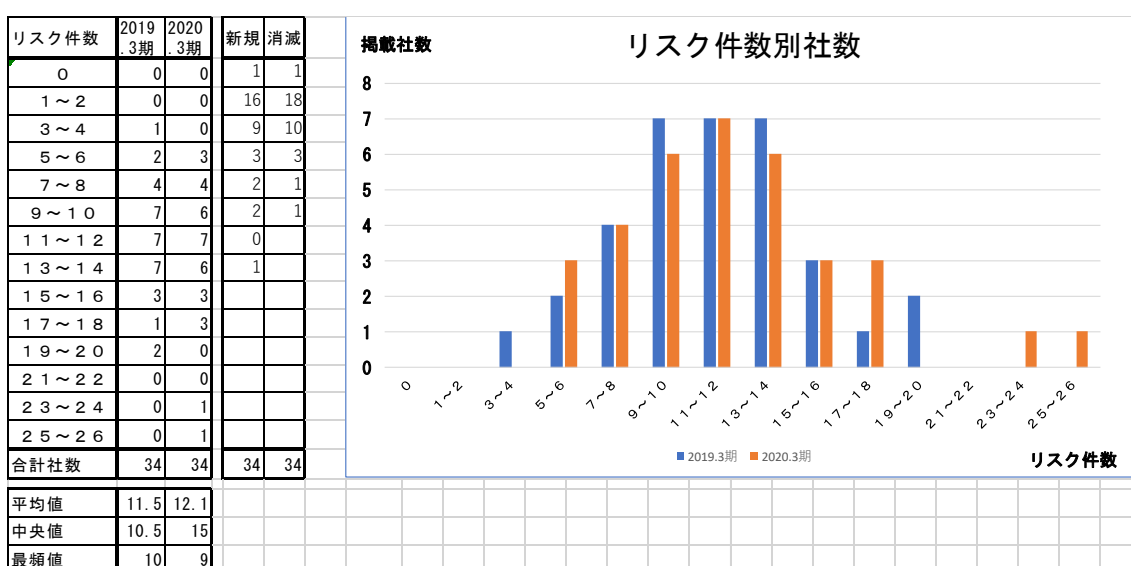
## 4. 掲載リスクの変化が大きい企業と小さな企業が拮抗している

新規掲載が2件以下の企業は17社（50.0%）、3件以上は17社（50.0）

掲載消滅が2件以下の企業は19社（55.9%）、3件以上は15社（44.1%）

であることから、掲載リスクの変化が大きい企業と小さな企業がほぼ拮抗している。

図表2 リスク別掲載企業数



出所：有価証券報告書から筆者集計

以上